

分野: 社会科学系

キーワード: ELSI、生成 AI、ChatGPT

生成 AI をめぐる ELSI 論点をまとめたレポートを発表 —生成 AI が含む倫理的・法的・社会的課題の現在地—

【研究成果のポイント】

- ◆ 社会に急激に広まる生成 AI(Generative AI)*¹に関して、2023年3月末時点の動向や、ELSI(Ethical, Legal and Social Issues/倫理的・法的・社会的課題)*²論点をまとめたレポートを発表
- ◆ 生成 AI の現在地を把握し、懸念される問題や、それらの課題にどのように向き合っていくべきかを考える際の基礎資料となることが期待される
- ◆ 大阪大学では、このレポートを参考にして、学生及び教職員を対象に生成 AI の利用についてのガイドラインを定めた。

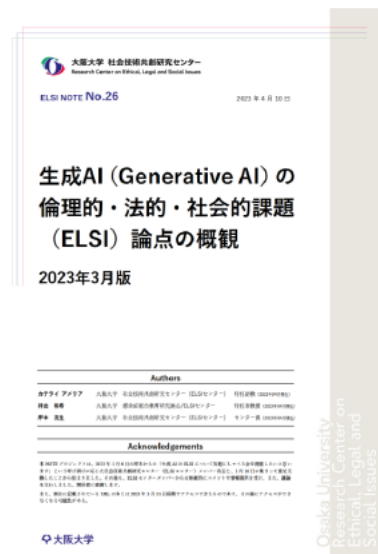
❖ 概要

大阪大学社会技術共創研究センター(ELSI センター)のカテライアメリア ヌル 特任助教(常勤)、岸本充生 教授/センター長、感染症総合教育研究拠点の井出和希 特任准教授(常勤)らの研究グループは、急激に世界に広まりつつある「画像生成 AI」や「テキスト生成 AI」などの生成 AI について、2023年3月末時点での動向分析を行い、ELSI(倫理的・法的・社会的な課題)の観点から考えられる課題をレポートにまとめました(4/12(水)公開)。

人工知能技術の進歩によって、映像や音声、画像、テキストを生成する生成 AI(Generative AI)が注目されています。一方で、生成されたものの情報の偏りや誤りを指摘する声も多く、その正しい活用方法は手探りの状態です。

今回、ELSI センターが発表した『生成 AI(Generative AI)の倫理的・法的・社会的課題(ELSI)論点の概観:2023年3月版』では、画像生成 AI、テキスト生成 AI のそれぞれについて、概要と現状の分析を行い、そのうえで、ELSI の観点からの課題を指摘しています。たとえば、著作権の問題やプライバシー、セキュリティ上のリスクに加え、バイアスの再生産、誤情報や偽情報といった情報環境への悪影響、及び自然環境への負荷、等の問題が指摘されます。また、このような動向に対し、社会の各分野(教育、学術出版、ジャーナリズム、司法、医療など)がどのような反応を示しているのかについてもまとめました。

すさまじい勢いで開発が進む生成 AI に対し、社会がどのように向き合い、使いこなし、場合によっては制限をかけていくべきか、そうしたことを考えるための基礎資料としての活用が期待されます。なお、技術開発だけでなく、規制を含む社会の対応もめまぐるしく展開しているため、2023年3月末時点での情報であることに留意してください。



Press Release

なお、本学では、このレポートを参考にして、学生及び教職員を対象に生成 AI の利用についてのガイドラインを定めました。

<参考 URL>

・大阪大学公式 HP ニュース「生成 AI(Generative AI)の利用について」

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2023/04/17001>

❖ レポートの概要

レポート URL:<https://elsi.osaka-u.ac.jp/research/2120>

<目次>

はじめに

1. 画像生成 AI(TEXT-TO-IMAGE AI)

1.1. 動向

1.2. 訓練のためのデータセット

1.3. 指摘されている ELSI 論点

2. テキスト生成 AI(TEXT-TO-TEXT AI)

2.1. 動向

2.2. 訓練のためのデータセット

2.3. 指摘されている ELSI 論点

3. 分野ごとの反応

3.1. 教育分野

3.2. マーケティング分野

3.3. 学術出版分野

3.4. ジャーナリズム分野

3.5. エンターテインメント分野

3.6. 司法分野

3.7. 医療分野

4. おわりに:ELSI への対応動向

❖ 用語説明(用語の表記は、本文にある記載と完全一致させてください)

※1 生成 AI(Generative AI)

人工知能(AI)の一種であり、通常の機械学習と同様、過去に作成された膨大な量のデータデータを学習することにより生み出されたアルゴリズムであり、入力される指示に応じてテキストや画像などの新しいコンテンツを出力・生成します。

※2 ELSI(Ethical, Legal and Social Issues/倫理的・法的・社会的課題)

ELSI とは、倫理的・法的・社会的課題(Ethical, Legal and Social Issues)の頭文字をとったもので、エルシーと読まれています。新規科学技術を研究開発し、社会実装する際に生じうる、技術的課題以外のあらゆる課題を含みます。

参考:https://elsi.osaka-u.ac.jp/what_elsi

❖ 参考 URL(※必須 ResOU に掲載)

岸本充生教授 研究者総覧 URL

<https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/ja/f3cd2a4d685371fb.html>



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

国立大学法人 大阪大学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

TEL: 06-6877-5111 (代)

www.osaka-u.ac.jp

Press Release

- ❖ 本件に関する問い合わせ先
大阪大学 社会技術共創研究センター
TEL:06-6105-6084 E-mail: info@elsi.osaka-u.ac.jp